

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月28日 (2013.11.28)

【公開番号】特開2012-219854(P2012-219854A)

【公開日】平成24年11月12日 (2012.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-047

【出願番号】特願2011-83662(P2011-83662)

【国際特許分類】

F 1 6 B 25/08 (2006.01)

F 1 6 B 35/00 (2006.01)

F 1 6 B 39/30 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 25/08

F 1 6 B 35/00 K

F 1 6 B 39/30 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月11日 (2013.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

絶縁膜が形成された相手部材との電氣的導通をとって使用されるアースボルトであって

、

ネジ部と頭部とを有し、前記頭部の座面から突出し前記絶縁膜を剥ぎ取り可能な前記ネジ部の外側に円環状に形成された突起部を備え、

前記突起部の外側に隣接し前記座面から窪んで円環状に形成され、前記突起部によって剥ぎ取られた前記絶縁膜を収納可能な第 1 溝部を備え、

前記ネジ部は、ネジ山部に半径方向の外方へ突出し、相手となるナットの雌ネジ部に形成される第 2 絶縁膜を剥ぎ取り可能なネジ突起部を備え、

前記突起部は、回転させることによって前記絶縁膜を剥離するとともに、前記突起部の内側を外側から水密にする

ことを特徴とするアースボルト。

【請求項 2】

前記突起部の外側に隣接し前記座面から窪んで円環状に形成され、前記突起部によって剥ぎ取られた前記絶縁膜を収納可能な第 1 溝部を備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載のアースボルト。

【請求項 3】

前記突起部の内側に隣接し前記座面から窪んで円環状に形成され、前記突起部によって剥ぎ取られた前記絶縁膜を収納可能な第 2 溝部を備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載のアースボルト。

【請求項 4】

前記第 1 溝部に対して外側にある外側座面が、前記第 1 溝部に対して内側にある内側座面よりも前記ネジ部の先端側に向かって高く形成されている

ことを特徴とする請求項 1 に記載のアースボルト。

【請求項 5】

断面視において、前記突起部は三角形状を有し、前記三角形状の頂部を挟む第 1 辺が前記第 1 溝部を形成する斜辺を形成すること
ことを特徴とする請求項 1 に記載のアースボルト。

【請求項 6】

断面視において、前記突起部は三角形状を有し、前記三角形状の頂部を挟む第 1 辺が前記第 1 溝部を形成する斜辺を形成し、前記三角形状の頂部を挟む第 2 辺が前記第 2 溝部を形成する斜辺を形成すること
ことを特徴とする請求項 3 に記載のアースボルト。

【請求項 7】

前記座面から突出し前記突起部の外側に円環状に形成され、前記突起部の突起の高さよりも低い突起の高さを有する補助突起部を備える
ことを特徴とする請求項 1 に記載のアースボルト。

【請求項 8】

前記ネジ部は、ネジ山部に半径方向の外方へ突出し、相手となるナットの雌ネジ部に形成される第 2 絶縁膜を剥ぎ取り可能なネジ突起部を備える
ことを特徴とする請求項 1 に記載のアースボルト。

【請求項 9】

前記ネジ突起部は、前記ネジ部の前記ネジ山部毎に複数形成されており、前記複数のネジ突起部は、前記ネジ部の軸線方向に対して螺旋状に配列されている
ことを特徴とする請求項 1 に記載のアースボルト。

【請求項 10】

前記ネジ突起部は、前記ネジ部の前記ネジ山部を押し潰して凹部を形成しこの凹部の両側に形成される盛り上がり部によって形成されている
ことを特徴とする請求項 1 に記載のアースボルト。